

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 工藤 聡一

研究課題		アメリカにおける航空関係立法史の研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	文献研究を主たる研究手法としつつ、行政法分野(航空安全、航空保安)を中心に、アメリカにおける航空関係立法の変遷を跡付ける作業を行った。高度の危機管理が要請される規制産業たる航空の分野は、危機管理学と法学の融合を目指す危機管理学部が参考とすべき論点の宝庫といえる。なかでもアメリカは、世界で最も早くかつ高度な航空運送網を確立し、航空運航、予約システムにとどまらず、事故調査、航空保安等について各国の規制を先導してきたことで知られる。アメリカ法が経験してきた課題とその克服の経緯に学ぶ必要性は高いと考えられる。
	研究成果	国際交流及び州際取引の手段である航空機については連邦法の適用を受けるところ、航空安全・保安に関する行政法分野では、1958年の連邦航空法を皮切りに、法整備が行われてきた。同時に、監督組織が体系化も進み、58年に連邦航空庁(Federal Aviation Agency)が設置され、67年に連邦航空局(Federal Aviation Administration)に改組されて現在に至っている。その他、航空市場の成熟と歩調をあわせ、78年には、航空事業者規制撤廃法が成立し、安全規制が維持される一方で、経済規制の緩和が断行された。そして、96年に至り、航空振興と安全確保という航空行政における利害衝突を解消するために、連邦航空再授權法が成立し、連邦航空局の所管事項から航空振興が取り除かれ、その任務は安全確保に純化されることとなった。本研究においては、こうした歴史的な経緯を文献研究を通じて辿るとともに、今日的な行政法・行政組織上の課題を解明しようと試みた。その他、派生研究として、航空運送法、商事法一般についての最新動向をフォローした。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	①研究報告書:工藤聡一「アセット・プロテクション・トラストの生成と展開」『信託研究奨励金論集』第38号(社団法人信託協会、平成28年11月)1～20頁。 ②資料:工藤聡一「外国文献抄録2016」『空法』第58号(日本空法学会、平成29年5月)1～13頁。